

事業名	eラーニングによる人材育成支援モデル事業	
主管課及び関係課(課長名)	生涯学習政策局参事官(学習情報政策担当) 森本 浩一	
施策目標及び達成目標	施策目標 1 - 1 生涯を通じた学習機会の拡大 達成目標 1 - 1 - (追加) eラーニングを活用して、時間的・空間的制約を越え、いつでも、どこでも、誰でも学習できる機会を充実する。	
事業の概要	<p>フリーターや若年人材等が、いつでも、どこでも、誰でも手軽に学び直しや、職業能力向上ができるeラーニングを活用した学習支援システムの構築を目指し、各省が連携・協力的なモデル事業を行う。</p> <p>1. 推進委員会の開催 事業全体の相互調整を行いながら、モデル事業を支援する組織として、各省連携・協力による推進委員会を設立し、eラーニングを活用した学習支援システムの仕組みや運用体制、今後の推進方策等について検討を行う。また、各モデル地域の選定等を行う。</p> <p>2. 地域の特色を活かした職業能力向上コンテンツの作成 地域の大学、短期大学、専修学校等による学習コンテンツ作成等に対する支援を行い、全国5地域で学習支援のためのモデル事業を実施する。</p> <p>3. 生涯学習支援システムの開発 学習者への支援を行うため、ポータルサイト機能、学習履歴管理システム、横断検索システム等の開発を行う。</p>	
予算額及び事業開始年度	平成17年度概算要求額：503百万円 事業開始年度：平成17年度	
得ようとする効果	<p>本事業を通して、学習者の多様なニーズに対応したコンテンツの制作支援を行うことにより、地域における生涯学習活動に活用できるコンテンツが充実し、ひいては地域の特色を活かした生涯学習機会が充実する。コンテンツ、開発された学習支援システム及び蓄積された知見を広く共有し、他地域でも活用できるようにすることで、地域の自主的取組による、いつでも、どこでも、誰でも学習できる機会が拡大することが期待される。</p>	<p>達成年度 平成19年度</p>
必要性	<p>若者を取り巻く厳しい雇用情勢や雇用慣行の変化等から自己責任による職業能力の向上が求められているが、そのための社会的な基盤が整備されていない状況にある。特に、若年者は雇用の機会も少なく、失業等により学び直しや職業能力を高めるための機会が減少しており、将来的に我が国経済の生産性に悪影響が及ぶことが懸念されている。このような状況を踏まえ、英国において、高い評価を受けている「ラン・ダイレクト」の仕組みを参考としつつ、eラーニングを活用した学習支援システムを構築することにより、いつでも、どこでも、誰でも学習が可能な生涯学習の機会の充実を図るとともに、フリーターや若年人材等の学び直しや職業能力向上の機会を拡大することが必要である。</p> <p>また、経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004(骨太の方針)(平成16年6月4日閣議決定)において、産業人材の育成に必要な「草の根eラーニング・システムの整備等」の推進が盛り込まれている。</p> <p>同様に、若者自立・挑戦プランの基本的方向(平成16年6月8日：若者自立・挑戦戦略会議)においても、「草の根eラーニング・システムの導入」が盛り込まれている。</p> <p>さらに、平成15年度実績評価書においても、施策目標1-1「生涯を通じた学習機会の拡大」の中で、「その他、新たにeラーニングを活用した若者の自立・挑戦の支援について検討を始め、遠隔教育に関する施策の充実を図る。」と記載されている。</p>	
効率性	<p>本事業の予算規模は503百万円であるが、モデル事業を実施することにより、eラーニングを活用した地域の特色ある学習コミュニティの形成や、組織を超えた連携の強化が図られ、そのような実践事例が地域にも広がっていくことが期待されることから、本事業は効率的に実施されると判断。</p>	
有効性	<p>効果の把握の仕方(検証の手順) 本事業の効果は、モデル事業を通して、eラーニングを活用した学習支援システムの活用状況等を集計・分析するとともに、利用者のアンケート調査等により、把握する。</p>	<p>得ようとする効果の達成見込みの判断根拠(判断基準) 本事業の効果は、類似の事業である英国の「ラン・ダイレクト」において、多くの利用者が基礎的素養の涵養や、職業能力の向上のために利用し、高い効果を挙げている(英国成人(16歳以上)の72%が「ランダイレクト」を知っているという認知度の高さがそれを示している)ことを踏まえ、我が国の制度・慣行に合致した仕組みを構築することにより、同様の効果が得られると判断。</p>

# 草の根eラーニング・システムの整備

## 文部科学省

- ・教育機関による就業支援に関する学習コンテンツ開発・実証(全国5ヶ所程度のモデル事業)
- ・教育機関における学習相談員の委嘱
- ・学習支援システムの開発

## 経済産業省

- ・産業界が求めるビジネススキル等の学習コンテンツ開発・実証(全国10ヶ所程度のモデル事業)
- ・学習サービス提供の仕組みの構築
- ・地域産業界との連携推進

## 厚生労働省

- ・eラーニング講座情報等を提供する仕組みの整備
- ・給付金制度の活用

## 草の根eラーニングサービス

ジョブカフェ、大学等の教育機関、商工会議所、民間研修機関等のコンソーシアム

### 動機付け、自分発見

学習相談、体系的な学習情報の提供・検索、学習達成度の自己診断支援等

### 就業能力の向上

就業(就学をステップとするものも含む)に役立つeラーニング講座

- ビジネススキル
- コミュニケーションスキル
- 専門分野 等

キャリア形成に向けた相談

フリーター  
・  
無業者等

中小企  
業

若者の自立産業人材育成

環境整備を通じた草の根eラーニングサービスの活用促進  
(eラーニング講座情報等を提供する仕組みの整備、給付金制度の活用等)